

《第11回》 銭湯検定4級問題

(解答時間：100分)

- 問1) 大阪における銭湯経営者のルーツとして多いのは富山、石川、()である。
①新潟 ②岐阜 ③福井
- 問2) 昭和30～40年代、銭湯で背景画を描く絵師の見習いは()を描くことから始めた。
①空と雲 ②海と船 ③富士山の周りの山並み
- 問3) あまりに頑丈だったので戦時中に憲兵隊が撤去できなかつたと伝えられる自由の女神の像は、()の源ヶ橋温泉(休業中)の屋根の上にある。
①神戸市 ②大阪市 ③京都市
- 問4) 東京で最初の「登録有形文化財」の銭湯は()である。
①燕湯 ②大黒湯 ③タカラ湯
- 問5) 明治初期、東京・芝の三田通りに()が大家を務める銭湯があった。
①永井荷風 ②福沢諭吉 ③徳川慶喜
- 問6) 洋風銭湯によく使われているヨーロッパの装飾タイルの一種は、()と呼ばれる。
①フレンチタイル ②イタリアンタイル ③マジヨリカタイル
- 問7) 東京都の江戸東京たてももの園に移築された銭湯の現役時代の屋号は()である。
①オリンピック湯 ②松の湯 ③子宝湯
- 問8) 江戸の湯屋の目印となったものの一つは()であった。
①弓に矢をつがえたもの ②温泉マーク ③白い旗
- 問9) 川柳「湯へ入って人間になる煤払い」は()の光景を詠んだ句である。
①12月1日 ②12月13日 ③12月31日
- 問10) 川柳「熱湯好きうぬばかり情を張り」は江戸庶民の()を描いた句である。
①威張りくさる様子 ②恥ずかしがる様子 ③見栄を張る様子

銭湯検定対策にぜひお役立てください！ 全国の書店で好評発売中！



銭湯検定公式テキスト I

定価 1600円+税

《銭湯に関する知識を満載》

銭湯のルーツは仏教伝来にあった!?

江戸の銭湯は真っ暗な湯船で混浴だった!?

福沢諭吉は銭湯を経営していた!?

監修：社団法人日本銭湯文化協会 発行：草隆社

(社)日本銭湯文化協会

- 問11) 足利尊氏の軍勢に追われた後醍醐天皇を里人がお隠した、との言い伝えがある場所は()である。
- ①瀬戸の藻風呂 ②今治の石風呂 ③八瀬の窯風呂
- 問12) 文化7年(1810)の江戸の湯屋523軒のうち、女湯専業は約()軒だった。
- ①11 ②111 ③222
- 問13) 光明皇后が難病患者の汚れを流し、体のウミを口で吸い出したという伝説の舞台となったお寺は()である。
- ①法華寺 ②本能寺 ③清水寺
- 問14) 重源上人が作らせたといわれる()の湯船は、外径が2メートル、深さは70センチである。
- ①銅製 ②鉄製 ③陶製
- 問15) 江戸時代には男女混浴禁止令が何度か出されたが、結局問題が解決したのは()になってからである。
- ①明治時代 ②大正時代 ③昭和時代
- 問16) 京都の西本願寺には()が作ったといわれる風呂が現在も保存されている。
- ①織田信長 ②豊臣秀吉 ③千利休
- 問17) 江戸時代、江戸の銭湯では元旦や節句などの特別な日(紋日)には、()風習が生まれた。
- ①入浴料を無料にする
②夜通し営業する
③客が湯屋におひねりをわたす
- 問18) 源頼朝は()の冥福を祈り、100日間で延べ1万人の施浴を鎌倉山内の浴室で行ったことが知られている。
- ①後鳥羽上皇 ②安徳天皇 ③後白河法皇
- 問19) 銭湯の数が一番多かった昭和40年頃、全国で()が営業していた。
- ①約7000軒 ②約2万3000軒 ③約4万5000軒

- 問20) 「温室経」によると、ぬか袋、楊枝、內衣のうち、入浴に必要な七つ道具に入っていないのは()である。
- ①ぬか袋 ②內衣 ③楊枝
- 問21) 江戸の銭湯の風景を描いた『浮世風呂』の著者は()である。
- ①十返舎 一九 ②式亭三馬 ③山東京伝
- 問22) 川柳「猿猴にあきれて娘湯を上がり」の「猿猴」とは何か。
- ①痴漢 ②湯屋の番頭 ③猿回し芸人が連れてきた猿
- 問23) 銭湯の浴室に現在のようなタイル張りが現われたのは()である。
- ①明治25年頃 ②大正10年頃 ③昭和30年頃
- 問24) 天正19年、江戸で最初の銭湯を開業したのは()である。
- ①伊勢与市 ②江戸与一 ③那須与一
- 問25) 江戸時代に書かれた銭湯経営のマニュアルを()という。
- ①賢愚湊銭湯新話 ②世間胸算用 ③銭湯手引草
- 問26) 江戸最初の銭湯は伊勢式の蒸し風呂と考えられているが、その原型は三重県の()に現在も残っている。
- ①南伊勢町 ②紀宝町 ③玉城町
- 問27) 幕末、浦賀港にやって来たペリーが、銭湯の混浴に驚いたことを記した書物は()である。
- ①日本における5年間 ②長崎海軍伝習所の日々 ③日本遠征記
- 問28) 20世紀半ば「放送時間になると銭湯の女湯から人が消える」という伝説を生んだラジオドラマは()である。
- ①君の名は ②笛吹童子 ③青い山脈
- 問29) 日本で国産石けんが発売されたのは()だった。
- ①江戸時代 ②明治時代 ③戦国時代
- 問30) 昭和20年の終戦直後、東京には()軒の銭湯があった。
- ①約400軒 ②約700軒 ③約1000軒

- 問31) 江戸時代の銭湯の、浴室から湯船のある部屋に入る時くぐる低い入り口の名前は()である。
- ①琵琶口 ②石榴口 ③牡丹口
- 問32) 江戸時代、天保の改革で、混浴を禁止した老中は()である。
- ①田沼意次 ②堀田正盛 ③水野忠邦
- 問33) 川柳「常盤ほど連れて八文湯屋に呉れ」は()を詠んだ句である。
- ①湯銭をごまかす母親
②チップを湯屋にはずむ客
③面倒見のいい母親
- 問34) 江戸時代、奉公人がたくさんいる大店などで、月決めて入浴料を払うことを()といった。
- ①留湯 ②留金 ③留桶
- 問35) 江戸時代、湯上がりに使うきれいなお湯(上がり湯)は()。
- ①湯番から汲んでもらった
②蛇口をひねれば出た
③湯船から自分で汲んだ
- 問36) 明治期に改良風呂が登場した結果、()習慣が出来た。
- ①湯を絞った手ぬぐいを頭に載せる
②明るいので手ぬぐいで前を隠す
③浴衣のまま湯船に入る
- 問37) 大阪周辺の銭湯でよく見られる浴槽の外側にある低い段を()という。
- ①一息 ②踏み込み ③一服
- 問38) 江戸時代の男女混浴「入込み湯」は別名で()ともいわれた。
- ①差し込み湯 ②逢引き湯 ③打ち込み湯
- 問39) 東京の温泉銭湯に多く見られる、地層中の植物の分解成分(フミン酸)が地下水に溶け出した温泉を()という。
- ①さら湯 ②黒湯 ③黄金湯

- 問40) 明暦3年(1657)、湯女禁止令により捕らえられた湯女は()に送られた。
- ①吉原 ②八丈島 ③佐渡
- 問41) 東京の銭湯建築で特徴的な「宮造り銭湯」は、()に急に増えてきた。
- ①江戸後期 ②関東大震災後 ③東京大空襲後
- 問42) 江戸時代の銭湯では、銭湯で泥棒がつかまったときは()店の外へ出した。
- ①顔に墨をぬってから ②腕に刺青をしてから ③髪の毛を剃ってから
- 問43) 富士山のペンキ絵の発祥になった浴場名は()である。
- ①松の湯 ②富士の湯 ③キカイ湯
- 問44) 江戸時代、銭湯のことを江戸では湯屋と呼び、大坂では()と呼んだ。
- ①湯船 ②お湯屋 ③風呂屋
- 問45) かぐや姫のヒット曲「神田川」で歌われている()の色は赤である。
- ①ひざかけ ②てぬぐい ③タオル
- 問46) 江戸時代の銭湯では、6月に暑気払いのために湯船に()を入れる習慣があった。
- ①桃の葉 ②ミカンの葉 ③お茶の葉
- 問47) 銭湯の浴室でペンキ絵を最初に描いた絵師の名は()である。
- ①丸山清人 ②佐怒賀次男 ③川越広四郎
- 問48) ()の中に「東山に湯浴みにと人を誘ひ」と書かれていることから、京都の町中には平安時代から銭湯があったと考えられている。
- ①今昔物語 ②吾妻鏡 ③永昌記
- 問49) 2016年に東京都浴場組合のPRキャラクターとして登場し、2018年からは全国浴場組合のPRキャラクターも兼ねているのは()である。
- ①ゆげじい ②ゆっポくん ③お湯の富士
- 問50) 幕末に来日した医師ポムペは、風呂の湯温が摂氏()度は普通で、時にはもっと高いと記録している。
- ①42 ②46 ③50

ふりがな 氏名	生年月日	年	月	日
住所〒				
電話番号				

問1	1	2	3	問26	1	2	3
問2	1	2	3	問27	1	2	3
問3	1	2	3	問28	1	2	3
問4	1	2	3	問29	1	2	3
問5	1	2	3	問30	1	2	3
問6	1	2	3	問31	1	2	3
問7	1	2	3	問32	1	2	3
問8	1	2	3	問33	1	2	3
問9	1	2	3	問34	1	2	3
問10	1	2	3	問35	1	2	3
問11	1	2	3	問36	1	2	3
問12	1	2	3	問37	1	2	3
問13	1	2	3	問38	1	2	3
問14	1	2	3	問39	1	2	3
問15	1	2	3	問40	1	2	3
問16	1	2	3	問41	1	2	3
問17	1	2	3	問42	1	2	3
問18	1	2	3	問43	1	2	3
問19	1	2	3	問44	1	2	3
問20	1	2	3	問45	1	2	3
問21	1	2	3	問46	1	2	3
問22	1	2	3	問47	1	2	3
問23	1	2	3	問48	1	2	3
問24	1	2	3	問49	1	2	3
問25	1	2	3	問50	1	2	3

解答用紙は、返却しませんので、必ずコピーをとり郵送してください。
採点后に合否通知書などを郵送いたします。

【銭湯検定4級試験実施要領】

期間：2019年4月25日～9月30日※当日消印有効

● 受験資格

学歴・年齢・性別・国籍等の制限はありません。ただし、合格証の送付先が日本国内である方に限ります。

● 受験料 1,500円

● 合格基準 50問中35問以上正解の方を合格とします。

● 受験方法

① 2～6ページの50問の解答を7ページの解答用紙に記入してください(正解の番号を1,2,3から1つ選んで○をつけてください)。

② 解答にあたり、書籍・インターネットなどで調べてもかまいません。ただし、電話等による関係機関へのお問い合わせはご遠慮ください。

③ 受験料1,500円を郵便振替でご送金の上、領収証のコピーを解答用紙に同封して下記あてに郵送してください。

【郵便振替】

口座番号：00100-4-763221/口座名：日本銭湯文化協会

※備考欄には「住所」「氏名」「電話番号」のほか「4級試験受験料」と必ずご記入ください

● 解答用紙送付先

〒101-0031 東京都千代田区東神田1丁目10番2号 東浴ビル内

社団法人 日本銭湯文化協会「銭湯検定」係

TEL 03(5687)2635

● 合格発表

毎月末までに協会事務局に到着した解答について、翌月の15日頃に合否通知を発送いたします。

なお、合格者には、カードサイズの合格証を郵送いたします。